



Salamat Po=ありがとう。
たくさんの感謝の気持ちを忘れずマニラの様子を伝えていきたいと思います。

夏休みが終わり、9月末にあるMJSフェスティバル(学習発表会)に向けて一色の日本人学校。9・10月は、雨期に伴い週の半分以上が雨の週も…。北海道には、雨期が無いので何とも不思議です。

International school MANILAを見学しました

職員の研修で毎年、マニラにある公立学校・私立学校・特別支援学校などを見学に行っています。今回は、日本人学校から徒歩5分にあるインターナショナル・スクールに行ってきました。日本人学校の児童・生徒も毎年10~20名程度、途中からインターナショナル・スクール(通称IS)に行く子がいます。日本から来た子ども達は、日本人学校かISか選択に迷うみたいです。(特に小学生高学年以上)とにかく驚きの学校施設を紹介します。

基本情報(International School Manila)

Elementary school(8年間) Kindergarten(幼稚園)3~6歳 G1~4(6~10歳)750名

Middle School(4年間) G5~8(10歳~14歳 中2まで)750名

High School(4年間) G9~12(高校まで)800名の3つカテゴリーが一つになった 計約2200名のマンモス校
1クラス約20~25名 各クラス担任とアシスタントの先生がいる。先生の本数は230人、アシスタントの先生が100人。先生方は、アメリカ・イギリス・オーストラリア人が8割を占めるそうです。

子ども達は、80か国の子ども達がいて、アメリカ人26%、フィリピン人15%、韓国人8%、日本人・インド人・オーストラリア人が6%と続く。日本の子ども達は、約150人通っています。

ちなみに1年間の学費は、**小学生で約400万円。**自分の子どもも通わせたいなあと思う反面(実際、こんな学費払えませんが…)この学校を出て、日本の学校に戻ったらどう感じるのだろうかと思いました。



60m×25mの室内育館が4つ。学年・種目によって分かれています。



室内に体操用の鉄棒、平行棒なども完備。低学年が授業をしていました。



ボルタリングの壁。高さは20m以上あったような…。



中1以上は、全員ノートPCを持参。ここでメンテナンスやPC機器が買えます。

この他にも900人入る音楽ホールなど、日本の大学(それよりも施設は凄い)のイメージでした。圧倒されました。学年が上がるに連れ、教科の選択が増え、映像技師やジャーナリズムの授業など専門性を高める授業も多いようです。とにかく刺激をたくさん受けて帰ってきました。



美術室には、3Dプリンターが8台も完備されていました。



授業見学は、中1・2の技術「ロボテックス」。300ある部品を自由に使いロボを作るというまさにハイテクな授業でした。

